

平成 30 年 10 月 22 日
和 歌 山 大 学

平成 33 年度（2021 年度）和歌山大学入学者選抜の見直しに係る予告について

本学は、文部科学省による平成 29 年 7 月 13 日付け「大学入学共通テスト実施方針」及び「平成 33 年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告」の通知を踏まえ、志願者の「学力の 3 要素※1」を多面的・総合的に評価するため、下記のとおり平成 33 年度（2021 年度）入学者選抜方法等の変更をいたします。

なお、以下に記載している事項以外を含め、より詳細な実施内容については、現在検討中であり、決定次第、公表予定です。

1. 大学入学共通テスト

(1) 「一般選抜※2」においては、第一次試験として、高等学校等における基礎的教科・科目についての学習の達成度を測るため、大学入学共通テストを課す。平成 31 年度入学者選抜において、大学入試センター試験を課している「学校推薦型選抜※2」においても、大学入学共通テストを課すことを検討している。

(2) 英語認定試験（大学入試センター試験の認定を受けた英語の資格・認定試験）

「読む」「聞く」「話す」「書く」の 4 技能を適切に評価するため、大学入学共通テストの枠組みにおいて、英語認定試験を「一般選抜」の志願者に課すとともに、平成 35 年度（2023 年度）までは、大学入学共通テストにおいて実施される英語試験を併せて課すこととし、それらの結果を入学者選抜に活用する。

また、大学入学共通テストの枠組みにおいて、英語を課す「学校推薦型選抜」においても、「一般選抜」と同様の取扱いとする。

(3) 記述式問題

記述式問題を含む国語及び数学を、「一般選抜」の志願者に課す。

(国語)

記述式の段階別成績表示の結果を点数化し、マークシート式問題の得点に加点して活用する。

(数学)

記述式の段階別成績表示については、正誤のみの判定であること、及び大問の中でマークシート式問題と一体で出題され記述式問題にも配点がなされることから、従来のマークシート式と同様の取扱いとする。

2. 一般選抜

(1) 高度な記述式試験の実施

個別学力検査等において、論理的思考力・判断力・表現力を評価する高度な記述式試験を課す。ここでいう高度な記述式試験とは、例えば、複数の素材を編集・操作し、自らの考えを立論し、さらにその過程を表現する能力を評価できる問題であり、そのような能力をより適切に評価するため、作問等の改善に努め、高度な記述式試験を課す。

(2) 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価

調査書や志願者本人が記載する資料等を活用することを検討している。

3. 総合型選抜※2・学校推薦型選抜

「学力の3要素」を多面的・総合的に評価するため、調査書や志願者本人が記載する資料、面接等を活用する。

※1 「学力の3要素」とは、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を示す。

※2 平成33年度入学者選抜より、現行の「一般入試」を「一般選抜」、「AO入試」を「総合型選抜」、「推薦入試」を「学校推薦型選抜」に呼称を変更します。